

# 令和7年度 地域と学校の連携・協働「絆」体制構築事業

## 【本事業における課題や目標、評価・分析】

### 門川町

#### 【本年度重点的に取り組む課題】

- ・学校と地域の課題
- ・その他

#### 【課題の詳細】

- ・コロナ禍や核家族化の進展によって、地域社会と小中学生の繋がりが希薄になってきている状況である。  
門川町地域学校協働本部では、キャリア教育の一環として中学1年生と地域の大人が車座になって語り合うことで、中学生が自分自身の将来像について描き、地域との繋がりを再構築してほしいとの意見が出された。

#### 【課題解決のために本事業で取り組むこと】

- ・門川中学校1年生が地域の大人と車座になって語り合うことで、自分自身の将来像や地域課題に目を向け、今後のキャリア形成や地域活動に結び付けられる機会とする。

#### 【本事業で達成する目標】

- ・中学校1年生が地域の大人たちと語り合うことで、自分の将来像を描くとともに地域のことを知り、そのことを通して地域との繋がりを築いていく。

#### 【目標の達成度を測る指標】

- ・地域の大人とのキャリア教育への参加者数。

現状の数値 (R6 末)	本年度 (R7) の目標値	本年度の実績値 (R7 末)
0	171	171

#### 【目標に対する評価・分析】

- ・学校運営協議会委員を中心に、地域企業等も含め、40名弱の地域の大人たちが、1グループ6名前後で構成された中学生と車座になって語り合った。当初は、ぎこちない面も見られたが、徐々に打ち解け、様々な語り合いが出来ていた。

- ・大人数での開催となったが、大きな混乱もなくスムーズな進行ができ、参加した中学生からも感謝とポジティブな感想が聞かれた。